和而不同

おだやかな春の訪れと共に、今年もまたアレがやってくる。《花粉症》だ。ただでさえ厳しい世情が続く中、悩みの種がまたひとつ上乗せされてしまうのは、当事者たちにとってはなかなか辛いものだ▼今や、広く世間に浸透しているこの《花粉症》という言葉。実は、日本で初めて「スギ花粉症」というものが報告されたのが、1960年代。「《花粉症》なんて、昔はなかった」と耳にすることもある（時の感覚は人それぞれではある）が、今ほど世間に認知されていなかっただけで60年前から《花粉症》は存在した▼一度、「私《花粉症》かも」と思ってしまったが最後、もうその〝呪縛〟（じゅばく）からはなかなか逃れられない。正確な診断を受けていないにも関わらず、その思い込みによって症状がさらに悪化してしまうこともあるだろう▼「先入観」という言葉がある。価値判断のトップバッターのようなものだ。例えば、「二十歳にもなって何でこんなこともできないのか」と言った場合には、「二十歳であれば、このくらいはできて当然だ」という先入観がある。第一印象とは異なり、すでに構築されているがゆえ、動かしにくく、変えにくい▼「あの人はこうだ」といった個別の事案もさることながら、昔から更新されることなく未だ世間全体に漂う〝風習〟が描き出す「先入観」もある。今何を問うべきか。

〔徳〕